

福祉みえ

2024年 1 月号
No.390



11月5日に開催した「みえ福祉・介護フェア2023」の様子です。
 * P4・5に実施報告を掲載しています。
 ● 福祉みえでは、表紙に掲載する写真を募集しています。
 応募については、本会ホームページをご覧ください。➡



contents

- 特集：年頭所感 ～新年のメッセージ～ 2
- ねんりんピック愛顔のえひめ 2023 報告 3
- みえ福祉・介護フェア 2023 実施報告 4～5
- 令和5年度 東海北陸ブロック地域包括・在宅介護支援センター研究大会「三重大会」..... 6
- information 7
- 三重県共同募金会からのお知らせ 8

福祉みえでは特集記事に uni-voice による音声コードを導入しておりますが、今月号におきましては収録字数の関係上、音声コードの導入を見送らせていただいております。

みえあいネットワーク

年頭所感

「新年のメッセージ」



社会福祉法人
三重県社会福祉協議会
会長 井村 正勝

だれひとり取り残さない包摂的な
まちづくり、共生社会の実現にむけて

あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしく願います。
さて、地域における孤独・孤立の問題が一層、深刻化しています。一人暮らし高齢者やひきこもり、ヤングケアライなどの課題が顕在化しています。
孤独や孤立の問題には、様々な要因があります。病気や経済的な理由、家庭の中の関係性などもその要因としてあげられます。また、個々人のライフステージの変化もひとつのきっかけになりえます。例えば進学、就職、転職、結婚、子どもの誕生、引っ越しなどの時点で、様々な関係性が変わったり、あるいは関係が切れたりすることも考えられます。このライフステージの変化の要因については、私たちのまちづ

くりの中で問題を生じないようにできるかもしれません。

だれひとり取り残さない包摂的なまちづくり、あるいは何か問題が生じても支援しあえる共生社会の実現は、ある意味、都市計画の一環としてみんので考えるべき問題ともいえるのではないのでしょうか。そういった意味でも特定の分野だけではなく、様々な分野を越えての連携と協働が重要だと考えています。

本会といたしましては、住民の身近な相談相手である民生委員・児童委員をはじめ、福祉関係者や行政、関係機関、その他にも様々な分野の皆様と協働・連携し、「認め合い 包み込み 共に生きる地域社会をめざして」という、本会の計画の基本理念の実現を目指します。
本会役員一同、三重県の福祉の向上に努めてまいりますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



社会福祉法人
三重県共同募金会
会長 小笠原 まき子

参加と協働による「新たなたすけあい」の創造——共同募金における運動性の再生へ向けて——

謹んで新春をお祝い申し上げます。
平素より、赤い羽根共同募金運動にご支援をいただいております県民の皆さま、運動を支えていただいております関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。
さて、共同募金運動は、昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まり、今年で78回目を迎えます。この間、時代に応じて役割を変化させながら民間の地域福祉活動を財政面から広く支援してまいりました。
一方で、近年は少子高齢化、人口減少等に加え、新型コロナウイルス感染症の流行等により新たな地域課題が顕在化しております。また、県民の皆さ

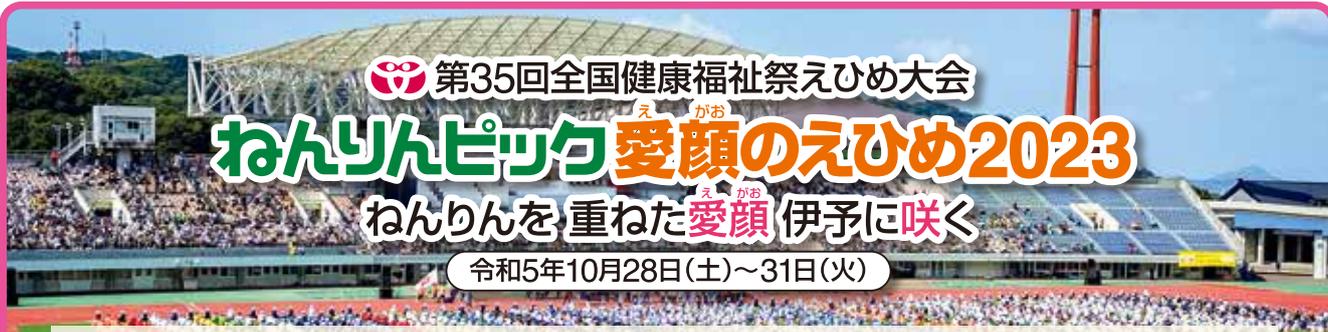
まの生活様式や寄付に対する意識の変化に伴い、共同募金における運動性の再生へ向けた参加と協働による「新たなたすけあい」の創造への取り組みが求められています。

三重県共同募金会では、県民の皆さまからのご支援とご協力に加えて、社会貢献活動に取り組む企業、スポーツチームの皆さま方との連携取り組みを積極的に展開しております。

共同募金の配分を受けられる社会福祉協議会をはじめとした団体等におかれましては、共同募金を取り巻く状況をご理解のうえ、県民の皆さまから共感が得られるよう、共同募金のより有効な活用、また、活用事業の積極的な情報発信などにご協力をお願いいたします。

最後になりますが、三重県共同募金会は、これからも地域の福祉ニーズを的確に捉え、共同募金のテーマでもある「じぶんの町を良くするしくみ」が十分機能するよう歩を進めていく所存でございますので、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



「わんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方を中心に、全国のあらゆる世代の方々がスポーツや文化種目の交流大会をはじめ、健康や福祉に関する多彩なイベント等を通じて健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図ることを目的とし、1988（昭和63）年から開催されている祭典です。

本年は、10月28日～31日の4日間の日程で愛媛県にて開催されました。三重県からは111名の選手が出場し、各種目で活躍されました。その中でも特に優秀な成績を残された方々（チーム）の報告をいたします。



わんりんピック愛顔のえひめ大会結果（三重県参加19種目）

種目	開催地	結果			
		リーグ	結果	チーム・個人名	備考
卓球	宇和島市	第1次予選リーグ	1位	松阪ラージ	Tブロック 1勝1敗
		第2次予選リーグ (第1位グループ)	1位		Eブロック 1勝0敗
ゲートボール	東温市	予選リーグ	1位	伊賀オールズ	Bパート
		決勝トーナメント (第1位グループ)	優秀賞		
パタンク	鬼北町	交歓試合	1位	松田 浩一	5ブロック
		最高齢者及び 高齢者賞受賞者	高齢者賞	鳥山 澄子	
ゴルフ	松山市	最高齢者及び 高齢者賞受賞者	高齢者賞	奥野 泰正	
		上位入賞	優秀賞	三重県	
弓道	松山市	会場地市町独自表彰	松山市特別賞	近藤 泰典	松山市制の施行日と同じ誕生日 (12月15日)の方を表彰
		最高齢者及び 高齢者賞受賞者	高齢者賞	伊奈 愛子	
ウォークラリー	上島町	かみりんコース	優秀賞	三重たそがれチーム	6位/20チーム
水泳	松山市	個人戦	第1位 (上位入賞)	岩下 由美子	25m背泳ぎ女子 70～74歳の部
ソフト バレーボール	松山市	予選リーグ	1位	ベガーズ	21組
		順位別リーグ戦 第1位グループ	1位		7組
ダンス スポーツ	今治市	会場地市町独自表彰	しまなみ海道開通 今治市特別賞	眞田 優子	しまなみ海道開通日の5月1日の方を対象に しまなみ海道開通今治市特別賞を贈呈
バドミントン	松山市	予選リーグ	1位	三重	Bグループ1位
		決勝トーナメント (各1位・2位)	優秀賞		
囲碁	松前町	個人戦	優秀賞	川村 義彦	ゆうすいブロック (3勝1敗)
			優秀賞	藤原 綾美	ひまわりブロック (3勝1敗)
		最高齢者及び 高齢者賞受賞者	高齢者賞	藤原 綾美	



みえ福祉・介護フェア2023 実施報告



イベントの概要

三重県福祉人材センターでは、福祉・介護の魅力発信事業（三重県委託事業）の一環として、今年も県内の多くの方に福祉・介護の魅力を伝えるため、「みえ福祉・介護フェア2023」を11月5日（日）にイオンモール鈴鹿で開催しました。今年度は、福祉・介護に関わりの少ない方へのアプローチを目指し、新しい試みを行いました。

アプローチの改善策

今までの参加者は、主にショッピングモールに買い物目的で来場した方や福祉・介護関係者やその家族でした。今年度はNPO法人Cabbageの協力を得て、小学生とその家族をターゲットにした福祉系謎解きイベント「Mystic Minds」を主軸としました。謎解きの人気もあり、わずか3日間で定員150組の予約が埋まるほどの反響を得ました。当日参加枠を合わせると合計で536名の参加者がイベントに集まりました。

また、参加の理由としては「謎解きに興味があるから」が58・5%、「福祉・

介護の仕事が学べる（体験できる）から」が16・0%となり、福祉・介護に関わりの少ない方へアプローチできたことを示しています。

福祉・介護の魅力を伝える取り組み

「Mystic Minds」は、参加者がストーリーの中に入り込み、様々な体験をしながらエリアごとにミッションをクリアしていくウォークラリー形式の謎解きイベントです。ミッションを通じて、福祉・介護の楽しさながら学んでいただきました。さらに、謎解き後には、「介護出展エリア」でも体験してもらい、福祉・介護に対する理解をより深める工夫をしました。

アンケートでは、本イベントを通じて72・7%の小学生が高齢者とかかわる仕事を「したい」「ちょっとしたい」とご回答いただき、中学生以上でも50・0%が「働いてみたくなった」「少し働いてみたくなった」とご回答いただきました（図1）。本事業の目的である福祉・介護の魅力を伝えることができたと考えます。

「介護出展エリア」の内容



一般社団法人三重県介護福祉士会
介護のお仕事体験・介護福祉による介護実演



公益社団法人三重県看護協会
看護師お仕事体験・お仕事相談



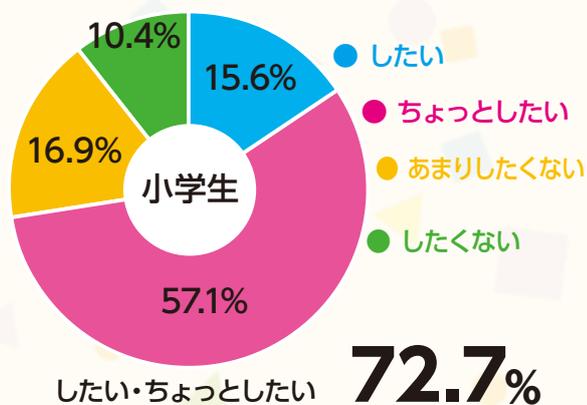
三重県介護福祉士養成施設協議会
メガネをかけてパズル ほか



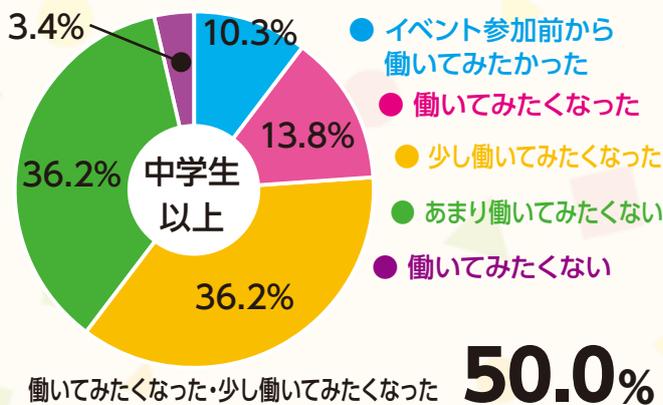
三重県老人福祉施設協会
介護ロボットの展示・体験

【図1】

Q高齢者の人とかかわる仕事をしてみたいですか



Q高齢者や福祉に関する仕事で働いてみたいですか



参加者の反応

イベントに参加した方々からは、「子どもが謎解きをきっかけに福祉に興味をもってもらえたようで良かったと思います。」「どんな人でも周りからの手助けや便利なものがあれば活躍できると知った。」というポジティブな意見が寄せられました。

おわりに

このイベントは、福祉・介護の魅力を伝えるきっかけの一つです。三重県福祉人材センターでは、ほかに各学校での「福祉介護の仕事学習セミナー」などで福祉・介護の魅力を発信していきます。また、介護に関する基礎的な研修を通して人材育成を行うとともに、福祉・介護の職場体験や福祉・介護の職場と求職者をつなぐマッチング支援を行い、人材確保・定着支援を行っています。ぜひ、ホームページをご覧ください。



令和5年度 東海北陸ブロック

地域包括・在宅介護支援センター研究大会「三重大会」

開催日時 令和5年12月1日(金) **会場** 三重県総合文化センター 小ホール
大会テーマ 地域包括・在宅介護支援センターの現在地(2025問題)を考える ～未来に向けて私たちができること～



開会式

令和5年12月1日(金)に三重県総合文化センターにて、東海北陸ブロックから104名の参加を得て、令和5年度東海北陸ブロック地域包括・在宅介護支援センター研究大会「三重大会」が開催されました。

人口減少と少子高齢化が進むなか、8050問題や育児と介護のダブルケア、ヤングケアラーなど複合的な課題を抱える住民のニーズには、従来の高齢者、障害者、児童などの対象者別の支援体制では対応が難しく、私たち地域包括・在宅介護支援センターに求められる機能や役割はますます大きくなっています。

このようなか、地域における複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、地域包括・在宅介護支援センターは、地域包括ケアの中心的な担い手として、全ての人々が安心して暮らし続けていくために、地域包括ケアの推進、地域の住民・各関係機関が連携を図り、支えあうこと

ができる地域づくりが求められています。

本研究大会では、2025年問題に向けた地域包括・在宅介護支援センターの現在地を話し合い、さらに2040年問題に向けた取り組みを考える機会を持つなかで、各県で活躍する仲間との交流・情報の共有を図り、各センターがそれぞれの地域で業務に活かしていくことを目的として開催しました。

研究大会概要

開会式では、三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長 竹下彰人氏の開会挨拶ののち、三重県知事 一見勝之氏(代理出席)、津市長 前葉泰幸氏より来賓挨拶をいただきました。

開会式に続き、全国各地域包括・在宅介護支援センター協議会会長 青木佳之氏による基調報告ののち、厚生労働省 東海北陸厚生局 健康福祉部 地域包括ケア推進課 地域包括ケア推進官 銘苅尚子氏に行政説明を行いました。

また、記念講演では、「地域づくりにおける地域包括・在宅介護支援センターに求められる役割」すべての人に居場所と役割を」と題し、豊中市社会福祉協議

会 事務局長 勝部麗子氏にご講義いただき、シンポジウムでは、各県1名ずつ実践発表を行っていただきました。

その後、次期開催県として、愛知県社会福祉協議会 高齢者部会 副部会長 中村範親氏よりご挨拶いただき、三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会 副会長 中嶋章人氏の閉会の挨拶をもちまして研究大会を終了しました。



基調報告 青木佳之氏



前葉市長



記念講演 勝部麗子氏



行政説明 銘苅尚子氏

ファシリテーター 豊中市社会福祉協議会 事務局長 勝部 麗子氏

実践発表者

「医療圏内の多職種多機関連携促進実践報告」

愛知県 弥富市地域包括支援センター 末藤 和正氏

「主任介護支援専門員たちによる地域づくり～はもみん活動～の取り組み支援について」

岐阜県 関市中央第3地域包括支援センター 武藤 千鶴子氏

「住民主体!? 地域でシニアの方が集える場所づくり」

福井県 永平寺町社会福祉協議会 地域包括支援センター 白崎 恭久氏

「一緒に歩んだ6年間 疾患発症から就労までの道のり」

石川県 南部高齢者総合相談センター 永井 二三代氏

「三重県地域包括支援センター・在宅介護支援センターの現在地」

三重県 三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会 チーム：MZH

シンポジウム



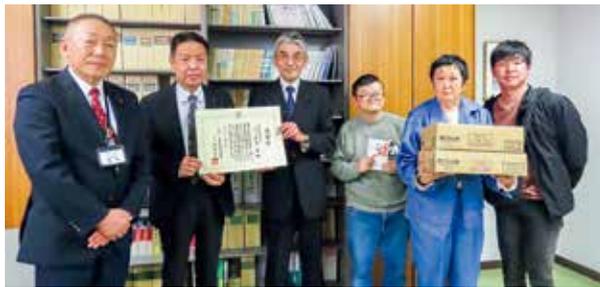
井村屋株式会社様から県内 116 社会福祉施設へ「肉まん・あんまん」をご寄贈いただきました

井村屋株式会社様から、三重県社会福祉協議会を通じて県内 116 社会福祉施設に対して、肉まん・あんまん 10,000 個をご寄贈いただきました。

寒い季節に温かい商品で年を越してもらおうと 2008 年からご寄贈いただいております。

寄贈先施設代表として、津市のたるみ作業所様が受け取りました。

本年もありがとうございます。



左から順に

三重県社会福祉協議会 常務理事兼事務局長

井村屋株式会社 常務取締役 ISCM 本部長

代表取締役社長

社会福祉法人津市社会福祉事業団 たるみ作業所

横田 浩一

佐々木 邦定 様

岩本 康 様

菅尾 元希 様

野村 須弥子 様

鈴木 康平 様

三重県園芸振興協会様から子どもの居場所に「いちご」を寄付していただきました

三重県園芸振興協会様から、「子どもの居場所」ニーズ・シーズのマッチング支援事業を通じて、ニーズ登録団体（子どもの居場所）内、希望団体 12 団体に対して、いちご 67 箱（268 パック）をご寄付いただきました。

いちごは、子どもの居場所内で子どもたちのデザートとしての提供や、フードパントリー、配食サービスで子どもたちのもとに配っていただきます。

ありがとうございました。



左から順に

ねこので食堂

三重県園芸振興協会（事務局 JA 全農みえ）

平嶋 咲良 様

新良 和也 様

令和5年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します！

◆加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額			
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉
TEL : 03(3349)5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

プラン1 オプション5 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償



取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL : 03(3581)4667

受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12033 から抜粋)



三重県共同募金会からのお知らせ

地域課題解決型募金（テーマ型募金）へのご協力のお願い

三重県共同募金会は、県内の団体がその地域が抱える課題を解決するため、団体の活動をアピールすることで、活動に賛同する県民の皆さまに寄付を呼びかける**地域課題解決型募金（テーマ型募金）**に取り組めます。令和5年度は「NPO法人 バンビの会」「NPO法人 太陽の家」「一般社団法人 三重県里親会」の3団体が参加し、募金の受付期間は**令和6年1月1日（月）～3月31日（日）**です。募金へのご協力をよろしくお願いいたします。



詳しくは
三重県共同募金会
ホームページへ

NPO法人 バンビの会

申請事業（テーマ）

無償の奨学金給付・生活支援金給付・お誕生日プレゼントの贈呈

事業内容

児童養護施設等で暮らす子どもたちへの奨学金、生活支援金の給付、プレゼントの贈呈

募金目標額 55万円

募金は
こちらから！



子供たちの未来のために
募金のご協力をお願いします！

日本全中で子供たちのために1人が賛同という現実をご存知でしょうか。また親の虐待やセクハラ、ワーという環境から、家庭の援助に頼れない子供には進学をあきらめざるを得なくなっています。NPO法人バンビの会では、そんな環境下にいる子供を一人でも多く、専門的な知識を身につけて社会に出る支援が出来ないかと、児童養護施設等で暮らす子供たちが大学等に進学するにあたって、経済不安の奨学金を支給する事業を行っています。卒業するまでの間、毎月24万円を毎月4回に分けて送金もしています。資金は会員の会費とご寄付によって賄っています。この取り組みを継続し、また一人でも多くの学生を支援していくために、地域の皆様からも支援をいただければ幸いです。進学により社会生活での適応性を増やし、自分の夢に向かって羽ばたける子供たちが増えるように、ぜひ皆様共同募金を通じてご支援・ご協力をお願いいたします。

奨学金の返済が困難な子供たちへの無償奨学金の提供
児童養護施設等で暮らす子供たちへの生活支援金の給付
お誕生日プレゼントの贈呈

NPO法人バンビの会
https://banbibikai001.lake.jp/ 059-2198-1485
mail: banbibikai001@gmail.com

三重県初の
ユース
センター
を設置し、
公的支援の少ない、
十代の若者を
サポートします。

支援内容
◆今を乗り切る
・安全安心な居場所
・相談支援
・食事支援、生活支援
◆未来を切り拓く
・体験活動
・学習支援
・就職トレーニング

NPO法人 太陽の家

虐待、不登校、自死の過去に苦しむ、十代の若者は深刻な状況に置かれています。私たちは、児童養護施設ユースセンターを設置し、公的支援が足りない十代の若者を支援いたします。ぜひ共同募金を通じてご支援をお願いします。

NPO法人 太陽の家

申請事業（テーマ）

民間ユースセンター開設事業

事業内容

ユースセンターを開設し、子どもたちに安心・安全に過ごせる居場所の提供

募金目標額 350万円

募金は
こちらから！



一般社団法人 三重県里親会

申請事業（テーマ）

スキルアップ研修・ふれあいキャンプ・里親の啓発広報

事業内容

- ・里親の養育向上につながる研修会の開催
- ・キャンプによる里親交流の場の提供
- ・チラシによる里親制度広報啓発

募金目標額 50万円

募金は
こちらから！



募金のご協力をお願いします!!

里親は子どもの育ちの応援団

里親交流研修
里親さん、子育て里親の交流会を開催し、仲間をつなぐ場づくりが、里親のスキルアップにつながります。また、行政担当者も勉強会を通じて、子どもたちが安心して暮らすことができるようサポートします。

里親研修啓発
里親になられたり、里親を目指す方々のための、社会的責任の子どもへのサポート。里親の役割は、子どもが安心して暮らすこと、里親の役割は、子どもが安心して暮らすこと。

一般社団法人 三重県里親会 059-2198-1485
https://miemwv.com/



発行人 井村 正勝

編集人 横田 浩一・広報委員会

発行所 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL：059-227-5145 FAX：059-227-6618

URL：https://www.miewel-1.com/

E-mail：info@miewel.or.jp

編集協力 株式会社アイリック